## 近代化産業遺産群

岡谷市では、市内の製糸にかかわる１５件の産業遺産が、『「上州から信州そして全国へ」近代化製糸業発展の歩みを物語る富岡製糸場などの近代化産業遺産群』として、平成１９年に経済産業省より認定されました。

※「近代化産業遺産」は、幕末から昭和初期にかけて日本の産業近代化に貢献した建物や機械、文書などの地域活性化をはかるために、経済産業省が認定したものです。

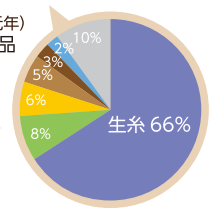
## シルク岡谷とは…

岡谷市は、明治から昭和初期にかけて日本の製糸業の中心地でした。
生糸の輸出を通して日本の近代化を支えた歴史を持ちます。
その生糸の品質は国内外で高く評価され、欧米からはＳＩＬＫ OKAYA
国内では「糸都岡谷」と呼ばれ、その名は世界に響きわたりました。

### 日本の近代製糸業と岡谷

岡谷は日本の製糸業の中心として、生糸の輸出で外貨を獲得。
日本の近代化を支えた。

- 1853 年（嘉永 6 年）ペリー来航
- 1859 年（安政 6 年）横浜開港 日本の生糸輸出が始まる
- 1860 年（万延元年）日本の主要輸出品




横浜開港以来、
昭和9年まで75年間、
生糸は輸出の第1位であった。

- 1872 年（明治 5 年）官営富岡製糸場設立

岡谷
- 1875 年（明治 8 年）中山社創業「諏訪式繰糸機」開発
- 1878 年（明治 11 年）垣外製糸場を創業のちの「片倉組」
- 1914 年（大正 3 年）第一次世界大戦
- 1932 年（昭和 7 年）日本が世界一の生糸生産国に
- 1941 年（昭和 16 年）太平洋戦争

1924 年（大正 13 年）全国の輸出生糸生産高
TOP5
1位 長野県（全国29%）
※岡谷は（全国11%）
2位愛知県
3位埼玉県
4位群馬県
5位山梨県

## シルク岡谷の礎　～明治初期に活躍した製糸家

明治から大正、昭和のはじめにかけて、岡谷には製糸業が飛躍的に発展し、「シルク岡谷」の名が世界にとどろいた。この発展の礎は、明治黎明期に活躍した人々によって築かれた。

### 武居代次郎〈1838～1896〉

日本中で使用された諏訪式繰糸機を開発

**「キカイ道楽」と呼ばれた情熱と創意工夫の人**

武居代次郎は明治8年に中山社を9人共同で創業し、イタリア式とフランス式繰糸機の長短を分析して安価で実用的な「諏訪式繰糸機」を開発。
これは瞬く間に全国へと普及し、各地で生糸の工場生産体制が整えられた。

### 初代 片倉兼太郎〈1849～1920〉

日本一の製糸工場「片倉組」を創設

**勤勉倹約・堅実経営・技術重視の精神**

初代片倉兼太郎は、明治11年に垣外製糸場を創業し、翌年には製糸結社の開明社を設立。
明治28年に片倉組を創設し、卓越した先見力と強いリーターシップで日本を世界一の製糸王国へ導いた。
勤勉倹約、堅実経営、技術重視という経営哲学は、諏訪地方の産業にも脈々と受け継がれている。

### 尾澤金左衛門〈1833～1894〉

生糸の品質管理技術を普及させ、世界市場からの信用を獲得

**結社・共同揚返しは画期的な出荷方法**

尾澤金左衛門は、明治12年に製糸結社、開明社を初代片倉兼太郎や林倉太郎とともに組織。
生糸の需要が急増にともない、日本の製糸業を粗雑品などの問題が深刻化していたが、揚返しを共同で実施することで、生糸の品質管理の徹底を図った。これが全国に普及し、日本の生糸は海外市場からの信用を獲得した。明治27年に尾澤組を創設。

### 林国蔵〈1846～1916〉

㈾林製糸所を経営、様々な事業を展開

**豊かな発想と先見性に富む実業家**

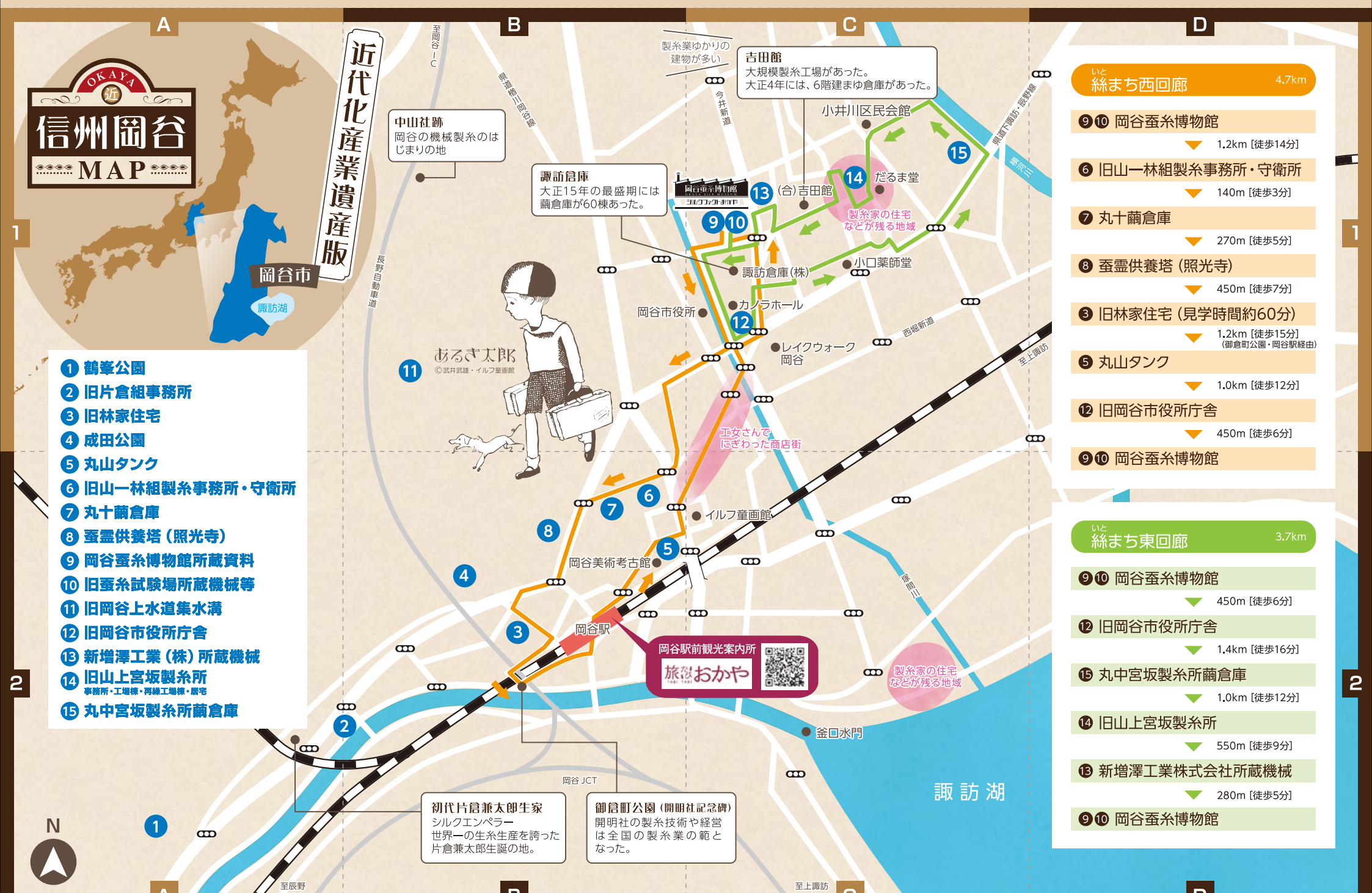
林国蔵は、岡谷三大製糸家の一人と呼ばれた実業家で、東京の日本橋にビルを構える程に成功した人物。
父倉太郎が創業した㈾(イチヤマカ)林製糸所を明治19年に引継ぎ、開明社の経営に参画した。国蔵はまれにみる実業家で、先駆けて中国産繭の輸入に着手、製糸工場の燃料不足が問題になるや、諏訪薪炭株式会社を創設、石炭の採掘を行うなど製糸業発展に大きく貢献した。

### 黒澤鷹次郎〈1850～1919〉

第十九国立銀行頭取。諏訪倉庫の創業者

**長野県の蚕糸業の発展に金融で貢献**

黒澤鷹次郎は、明治大正期の銀行家。明治10年長野県上田の第十九国立銀行の設立に参加し、明治20年から頭取。製糸金融を活発にし、諏訪郡内の製糸家に対して、繭を担保とした融資。横浜へ生糸を発送する際の販売代金立替払い(荷為替取組)を積極的に行い、機械製糸業の発展に大きく貢献。成田公園には鷹次郎の寿像があり、桜の時期には工女さんがお花見を楽しんだ。




### 絲まち西回廊　4.7km

- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館
  - ▼ 1.2km［徒歩14分］
- ⑥ 旧山一林組製糸事務所・守衛所
  - ▼ 140m［徒歩3分］
- ⑦ 丸十繭倉庫
  - ▼ 270m［徒歩5分］
- ⑧ 蚕霊供養塔（照光寺）
  - ▼ 450m［徒歩7分］
- ③ 旧林家住宅（見学時間約60分）
  - ▼ 1.2km［徒歩15分］（御倉町公園・岡谷駅経由）
- ⑤ 丸山タンク
  - ▼ 1.0km［徒歩12分］
- ⑫ 旧岡谷市役所庁舎
  - ▼ 450m［徒歩6分］
- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館

### 絲まち東回廊　3.7km

- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館
  - ▼ 450m［徒歩6分］
- ⑫ 旧岡谷市役所庁舎
  - ▼ 1.4km［徒歩16分］
- ⑮ 丸中宮坂製糸所繭倉庫
  - ▼ 1.0km［徒歩12分］
- ⑭ 旧山上宮坂製糸所
  - ▼ 550m［徒歩9分］
- ⑬ 新増澤工業株式会社所蔵機械
  - ▼ 280m［徒歩5分］
- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館


「岡谷シルク推進事業」　新しいシルク文化が生まれるまちへ
「岡谷シルク」とは、まちの歴史と文化を活かし、「新しいシルク文化」を創造する取り組みのこと。糸の都岡谷だから体験・体感できる価値を提供していきます。

発行者
岡谷市産業振興部ブランド推進室
〒394-0021　岡谷市郷田1-4-8　岡谷蚕糸博物館内
電話 0266-23-3489　FAX 0266-22-3675　E-mail brand@city.okaya.lg.jp

岡谷シルク HP